



社会福祉法人新栄会 オルト保育園

令和6年度

東京都すくわくプログラム

つち1歳



テーマ
「感触」

概要

- ねらい
- 環境構成
- 寒天遊び
- 小麦粉粘土
- 氷
- 砂
- 振り返り
- 保護者への共有



ねらい

絵の具や水など様々な素材にに触れて遊ぶ中で、ダイナミックに全身で感触を楽しんだり、慎重になったり、じっくりと触れたりする中で、感触の違い等を楽しむ

- **フィンガーペインティング**
指や手を使って絵の具の感触を楽しむ。
- **ボディペインティング**
手や足、体全身で絵の具の感触を楽しむ。
- **感触あそび（寒天、片栗粉、ゼラチン、氷）**
様々な素材を触り、違いや感触を楽しむ。



環境構成

素材

- 絵の具、寒天、片栗粉、ゼラチン、氷、ペットボトル、プラスチックカップ、スプーン、皿、ブルーシート、たらい、ジップロック

環境

- 2グループ（10人程度）に分かれて行ったり、1人ずつ行う。
- 素材を用意して机上でおこなう、床や壁に用紙を貼り、つけられるようにした。



活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり

- 絵の具を使用した際に、指だけでなく手のひら全体につけたり、指についた絵の具の感触を楽しんでいた為、フィンガーペインティングを行うこととした。
- 絵の具では「ぺたぺたする」「カサカサしてきた」と時間の経過と共に感触の変化に気付いていた。
- 感触あそびでは、片栗粉が垂れる様子や寒天を強く握ってぐずれる様子をじっくりと観察する子もいた。



振り返り

- 時間の経過と共に固まっていく絵の具の感触の変化に子ども自身が気付いたことに驚き、大人が思う以上に子どもでも気付いている事を知ったため、必要以上に保育士が介入しすぎず、遊びの様子を見守っていき、子どもからの発信を待つことも大切だと気付いた。
- 予想していたよりも子どもたちが身体全体を使って感触あそびをしていたことから、ブルーシートを敷くようにしたり、活動時間を多く確保したことで、より遊びが広がったり、やりとりが増えていった。



保護者との共有

活動を行った際に
ドキュメンテーションを掲示



令和7年2月にオルト展を開催



A high-angle, painterly photograph of several children sitting on a large blue mat, engaged in a painting activity. They are surrounded by various paint containers and have colorful paint splatters on the mat and their clothing. The scene is captured in a soft, artistic style with visible brushstrokes. A semi-transparent white banner is overlaid in the center, containing the Japanese text 'ありがとうございました。' (Thank you very much.).

ありがとうございました。